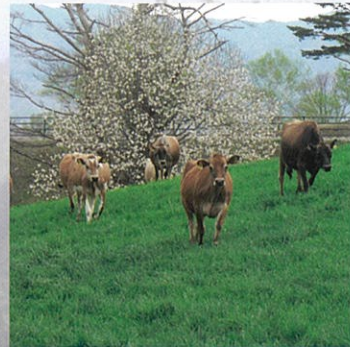


学校要覧



CAMPUS
GUIDE

推薦入学制度あり



はじめに

経験と、新しい技術の基礎を学び
新しい時代を生きる人材を育む
実践教育を目指します。

教育理念

経営感覚と確かな技術を持った人材の育成

酪農経営の知識と実践教育を通じた確かな技術により、
酪農の担い手として自立できる人材を育成します。

酪農を通じて地域に貢献できる人材の育成

酪農の社会的意義と役割を自覚させ、農山村地域の
維持・発展の中核となりうる人材を育成します。

社会人としての基礎力を備えた人材の育成

学校教育や集団生活を通じた協調性や
高いコミュニケーション能力により、
社会人として信頼される人材を育成します。

沿革

昭和36年12月	岡山県立酪農大学校として設立	平成 5年	第2牧場にオートタンドム型パーラーを導入、併せてパーラー屋根にシンボルとしてカリオン時計を設置
昭和40年11月	(財)中国四国酪農大学校に改組 (中国・四国各県並びに兵庫県をもって構成)	平成 7年11月	新校舎完成
昭和42年4月	昭和天皇・皇后両陛下行啓	平成 8年10月	第1牧場ヘルパー宿泊施設新築
昭和44年8月	ホルスタイン種優良基礎雌牛導入 (アメリカ)	平成 9年	第2牧場新牛舎完成
昭和45年8月	ジャージー種優良基礎雌牛導入 (ニュージーランド)	平成 14年6月	ジャージー種優良基礎雌牛の導入 (熊本県小国町4頭、蒜山地域4頭)
昭和53年	第1・第2研修センター、男子寮、女子寮 酪農後継者養成施設、体育館 ロータリーパーラー、気密サイロ スラリストアー、草地造成、牧道整備等の実施	平成 15年3月	ジャージー種優良基礎雌牛の導入 (群馬県嬬恋村10頭)
昭和62年	受精卵移植技術講習会 本校で開始	平成 16年3月	ジャージー種優良基礎雌牛の導入 (群馬県嬬恋村10頭)
平成 2年	牛削蹄師免許講習会 本校で開始	平成18年	第1牧場新牛舎完成
平成 4年3月	女子学生増加に伴う女子寮の増築	平成22年8月	専門学校認可 (平成23年度～専修学校)
		平成25年	公益財団法人に移行
		平成27年	新学生寮完成
		平成29年1月	第2牧場農場HACCP認証
		平成30年8月	第1牧場農場HACCP認証
		令和元年10月	認定農業者(真庭市)認定

酪農経営に直接役立つ 有意義な資格取得の 機会が豊富。

近年、牧場の大規模化に伴い、機械による省力化が進む酪農の現場では、家畜の飼養管理や飼料生産などの作業にトラクターやフォークリフトなどの機械操作が必要です。また、より高度に乳牛を管理するためには、人工授精や受精卵移植などの繁殖技術や削蹄技術が必要になります。酪農大学校では、在学中にこれらの技術を身につけ、卒業後に即戦力として活躍できるよう、酪農現場で役立つ免許や資格を取得する機会を豊富に設けています。



資格取得

1 卒業時に専門士(農業専門課程)の称号が得られます。

6 家畜(牛)人工授精師免許

2 大型特殊車両運転免許(農耕車限定)

7 家畜(牛)体内受精卵移植師免許

3 けん引車両運転免許(農耕車限定)

8 牛削蹄師資格

4 フォークリフト運転技能講習

9 酪農ヘルパー専門技術員養成研修会

5 車両系建設機械(整地、運搬、積込、掘削用)運転技能講習

10 家畜商



中国四国酪農大学校/本館

voice!

先輩から

川角 琴乃さん

(55期生)

幼い時から動物が好きだった私は、高校で初めて牛の飼育を経験し、酪農を将来の仕事にしたいと考えるようになりました。そこで、知識はもちろん、技術も実習という形で学ぶことができる酪農大学校に進学を決めました。

私は寮生活が初めてで、全国各地から集まった人々との生活に心配もありましたが、出身地域の話や高校のことなど、お互いに全く知らない分話が弾み、すぐに打ち解けることができました。また、先輩や先生が講義や実習に関することから農家でのアルバイト探しまで、親身になって相談に乗ってくれるので、楽しい学校生活を送ることができています。

カリキュラム

酪農科

座学で身につく酪農の知識、
実践で修得する確かな技術。

酪農大学の履修年限は2ヶ年。日々の講義と毎日の実習を通して卒業後に即戦力として認められる技術、知識の修得を目指します。



講義



実習

1年次

4~3月

基礎学習 (12ヶ月) (講義、演習、実習、各種講習会)

2年次

4~11月

12~3月

実務研修 (全国各地の先進農家等)

応用学習 (講義、卒論、各種講習会)

一年次

酪農における基礎的な知識を身につけることを目標とします。また、付属牧場での乳牛飼養管理を中心とした実習を当番制で毎日行い、酪農の基礎を学びます。



乳製品製造演習



人工授精実習



家畜審査演習



牧草飼料作物演習

二年次

4~11月は校内および全国各地の先進農家で実務研修を行います。帰校後はより高度な講義の他、卒業論文の制作や講習会などを受講します。



牧草の収穫作業



経営演習



卒業論文発表

講義

近年の進歩し続ける酪農技術に適應していくためには、状況を的確に判断し、最良を選び取ることのできる知識が必要です。日々の座学を毎日の実習で実践していくことで、将来にも役立つ、確かな知恵として自分のものにしていくことができます。



飼養管理講義



飼料作物講義

搾乳理論

搾乳は毎日行われる牛と人の共同作業です。搾乳理論ではどうやったら牛に協力してもらえて、その体からうまく牛乳を取り出せるかを学びます。また、牛は言葉をしゃべらないので体に表れるサインを一瞬で読み取り適切な対応をすることが求められます。毎日の実習で戸惑ったりすることが無いよう、授業ではそのサインを読み解くポイント、コツを交えながら理論的に牛も人も快適な搾乳について解説しています。



搾乳実習

飼料学

飼料にはその目的に応じて、様々な種類の素材が飼料原料として存在していますが、これらはそれぞれ特性が異なります。このような飼料特性を、わが国で手に入りやすいものを中心に解説を加えながら説明します。また、飼料に含まれる各種の栄養素が反芻家畜である牛に採食された場合、どのような流れで消化、吸収され利用されているかについて学習し、牛の消化と飼料の関係について理解を深めながら、同時に現場における飼料給与の意味やその効果



飼料作物実習

の予測、予測される悪影響への予防といった実際的な飼料の扱い方についても説明を加えていくことで、実習中に起こる様々な管理に関しても同時に理解を深めていくことができます。

品質管理学

安全な食品を消費者に届けるためには、生産・処理・流通・販売で構成されるフードチェーンの各段階でそれぞれに安全確保のための責務を果たすことが肝要です。特に生産農場はフードチェーンのもっとも川上に位置するため、その責務は重大です。健康な牛から安全な生乳が生産されるため、牛の健康管理に万全を期することはもちろんですが、牛のからだから出た瞬間から出荷されるまで、生産物は食品として正しい安全管理がおこなわれなければ、消費者の安心や信頼は得られません。品質管理学では、生産農場における法令



品質管理学

遵守について学ぶとともに、生産物の安全をどのようにして科学的、客観的に確保するのか、またそのことが効率的で生産性の高い生産工程の構築にどのように結びつくのかを学習します。

加工実習

近年、農林水産業の6次産業化が注目されており、酪農業界でも牛乳を搾って農協に出荷するだけでなく、自分たちでビン入り牛乳や乳製品の製造販売に取り組む酪農家が増加しています。ここ数年は学生からも「将来は自分で搾った牛乳でジェラートやチーズを作りたい!」という声が多く聞かれるようになりました。そこで、本校では【乳肉加工学】で乳製品・肉製品の製造について学び、【乳製品製造演習】でアイスクリーム、ヨーグルト、チーズの製造を行っています。朝、自分たちで搾った生乳を使って作る乳製品



乳製品製造演習

品は絶品!!加工実習室にはチーズ熟成庫があるので、カマンベールや熟成タイプのハードチーズも作ることができますよ!

カリキュラム

実習

酪農大学校では、実践の中で身につく技術に重きを置いた教育を行っています。酪農という極めて専門的な技術体系の中で、机に向かっただけでは決して得ることのできない技術を、自然や機械、牛から直接学べる環境が整っています。教育機関として日本で最初の農場HACCP認証を取得し、生産物の安全性と品質にこだわった生産体制を維持しながらより実践的な実習を実現するため、国内の牧場で多く見られる2種類の飼養形態を付属牧場で採用しています。



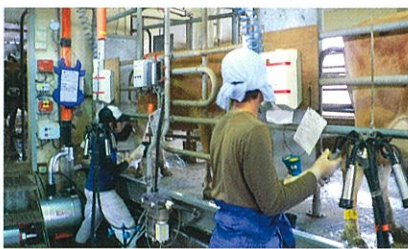
第1牧場飼養品種：ホルスタイン種・和牛



第1牧場飼養形態：レール式パイプライン ニューヨークタレストール・分離給与



第2牧場飼養品種：ジャージー種



第2牧場飼養形態：タンデムバーラー・フリーストール・TMR給与



牧草収穫

本校は岡山県の県北標高約500m程度の高原地帯にあり、約60ha程の牧草地を管理しています。

第1牧場 イタリアンライグラス・デントコーン

第2牧場 チモシー・リードカナリーグラス

良質な牛乳を生産するためには良質な草が必要ですが、草の収穫はその年の天候によって大きく左右されます。安心して良質な牧草を収穫するために土壌・粗飼料分析を行い、土づくり・草づくりをモットーに日々、頑張っています。また、本校は実践教育を主としているため、作業機の運転に必要な資格を取得後、牧草収穫時にはトラクター運転、機械操作等を行ってもらい実際の現場と同様に収穫作業を行いながら技術力向上にも努めています。



牧草ロール

共進会

本校では春、秋に行われる共進会にホルスタイン種、ジャージー種ともに多数の牛を出品しています。

共進会とは、地域の農家が自慢の家畜を持ち寄って、外見的な機能性の優劣を第三者の目で決定する家畜の品評会のことです。わかりやすい言い方をすれば、牛の美人コンテストと言い換えることもできるでしょう。しかし、この品評会は出品までの管理の中に飼養管理技術の粋が集められており、各農家が持つ最高の技術を見聞き、体験できる最高の勉強の場でもあります。

会場の雰囲気や会話の内容から達人のみに許された聖域のように思われることもしばしばありますが、根本的に学びの場であるため、初心者、経験者は問われません、ただ、「牛についてもっと知りたい、管理について勉強したい」といった熱意を継続する意思だけが重要になる会です。みなさんご入学の暁にはより深く牛について知る機会に挑戦してみませんか？



共進会への参加

酪農フィールド研修科 短期間で知識と技術をUPする。

優れた経営感覚と確かな専門技術を身につけた酪農の担い手を養成する酪農科のほか、他大学の学生や社会人等を対象とした酪農の普及啓発事業(酪農フィールド研修事業)を行っています。この事業は、体験研修を通じて自己のキャリアアップを図るとともに、酪農の社会的な意義や役割を理解するためのもので、広く研修生を受け入れています。

〈フィールド研修〉 講義内容:搾乳理論、飼養管理、家畜繁殖、機械演習など

■ 1~2週間コース

酪農に関する基本的な講義を中心に行い、乳牛の飼養管理などの体験実習を通して酪農に対する理解を深める入門コースです。

[開催時期] 6月~ [募集人員] 若干名

■ 1ヶ月コース

酪農に関する基本的な講義に加え、より専門的な講義、実践的な実習を行うことで高度な知識と技術の習得を目指す発展コースです。

[開催時期] 4月~5月頃 [募集人員] 若干名

就農・就職状況

(単位:人)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
卒業者数	21	19	23	25	17	22	16	29	18
酪農等後継者	1	3	3	3	2	4	1	4	3
新規・独立就農	-	-	1	-	-	-	-	-	-
牧場等雇用就農	17	14	14	16	9	14	12	19	12
酪農ヘルパー	2	2	1	3	2	1	3	3	-
削蹄師	-	-	-	1	-	1	-	1	1
農協等	1	-	2	2	1	1	-	1	-
大学附属牧場等	-	-	1	-	-	-	-	-	-
畜産関係団体	-	-	-	-	1	-	-	-	-
民間会社	-	-	1	-	-	-	-	-	1
進学	-	-	-	-	-	-	-	1	-
海外研修等その他	-	-	-	-	2	1	-	-	1

卒業生の主な就職先

【酪農】 有限会社希望園(岡山)／有限会社長恒牧場(岡山)／株式会社竹信牧場(岡山)／有限会社小林農産(栃木)／有限会社高秀牧場(千葉)／成田ゆめ牧場(千葉)／株式会社加茂牧場(千葉)／有限会社BIG TREE FARM(京都)／株式会社鳥淵牧場(京都)／兵庫県酪農ヘルパー利用組合(兵庫)／株式会社岡村牧場(鳥取)／鳥取県酪農ヘルパー事業組合(鳥取)／農事組合法人日登牧場(島根)／株式会社メイプル牧場(島根)／有限会社中山農場(島根)／有限会社トムミルクファーム(広島)／有限会社広野牧場(香川)／有限会社宇佐美牧場(愛媛)／株式会社マザーズファーム(熊本) **【肉用牛】** 農事組合法人伍協牧場(岡山)／有限会社小林牧場(岡山)／全農広島県本部広島系統牛保存センター(広島)／JA菊池キャトルブリーディングステーション(熊本) **【関連団体・企業】** 一般社団法人 家畜改良事業団(岡山)／おokayama酪農業協同組合(岡山)／蒜山酪農農業協同組合(岡山)／晴れの国岡山農業協同組合(岡山)／山口県酪農農業協同組合(山口)／プーキートレーディング株式会社(香川) 他

voice!

先輩から 森下 健蔵さん (54期生)

私の両親は福岡県で酪農を営んでおり、幼い頃から牛とともにある生活を送ってきました。自分も将来酪農経営者になりたいと考え農業高校に進学したのですが、まだまだ酪農について学びたいと強く思い、進学を考えている時に高校の先生に紹介されたのが酪農大学校でした。実習をメインとしたより実践的な学習に加え、2年時には最大3か所で校外での農家研修をすることができ、多くの人と関わりを持つことに魅力を感じ入学を決めました。入学してからは、地域の酪農家でアルバイトをさせて頂いたり、酪農関係のセミナーに参加させて頂いたり、研修先の農家だけでなく、全国の畜産関係の方々や仲良くさせて頂き、とても有意義な学生生活を送ることができました。卒業後は海外研修でさらに幅広い技術・知識・人脈を身につけたいと思っています。

Q&A

Q1

酪農大学校ってどんな学校？

本校は実践的な職業教育・専門的な技術教育を行う教育機関として学校教育法で定められた専修学校です。また、酪農大学校を卒業時に「専門士（農業専門課程）」の称号が得られますが、「専門士」の称号が付与された者は、短期大学卒業者と同等以上の学力があると認められ、大学への編入学の資格が与えられています。（ただし、編入学できる年次や認定される単位数などは大学により異なります。）

Q2

家が農家でなくても入学できますか？
また、農業高校以外からでも入学できますか？

入学できます。基礎から丁寧に指導していくので未経験者でも安心して学べます。また、近年は実家が農家でない学生の方が多いですが、卒業時の実力には差がなく即戦力として現場で活躍しています。

Q3

岡山県以外の出身でも入学できますか？

入学できます。全国各地から酪農や和牛飼育が学びたい学生が集まっているため、同じ夢や目標を持った仲間を得る場としても有効です。

Q4

卒業までにどのくらいのお金がかかりますか？

授業料は1年あたり40万円で、入学金・寮費・施設整備費などを含め2年間でおよそ200万円かかります。（食費は除く）これに資格免許取得に係る経費等が別途かかります。

Q5

就職活動はどのようにしていますか？

2年次に全国各地の牧場に研修に行きますが、その時に研修先や周辺の牧場から内定をもらってくる人が多いです。また、学校にも各種企業から求人が多く寄せられていますので就職先は豊富にあります。

Q6

男女比はどのくらいですか？

昔は圧倒的に男子学生の方が多かったですが、徐々に女子学生の人数が増えていき近年ではほぼ半々の割合で推移しています。

Q7

車の持ち込みは可能ですか？

車両持ち込み許可申請書を提出していただき、許可が出た後1人1台車やバイクの持ち込みができます。駐車場は学校が指定した場所を使っていただけます。

Q8

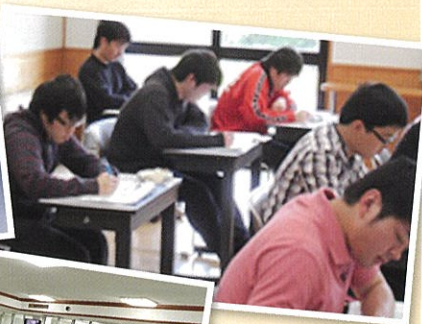
アルバイトは可能ですか？

学業に支障のない範囲で可能です。蒜山は酪農が盛んな地域であるため学校周辺の酪農家にアルバイトに行くことで酪農の知識をより多く学ぶことができます。また肉用牛農家でのアルバイトも可能です。さらに観光地でもあるため飲食店や酪農体験施設などにアルバイトに行っている学生もいます。

キャンパスライフ

学校生活

農大交流ソフトボール大会



講義風景



食堂

〈タイムテーブル〉

- 5:00 起床(搾乳当番)
- 5:30~7:30 搾乳実習(搾乳当番)
- 7:00~8:00 起床・朝食(搾乳当番以外)
- 8:10~9:30 朝定例実習(搾乳当番以外)
- 10:00~12:10 午前講義
- 12:10~13:00 昼食
- 13:00~14:00 午後講義
- 14:30~16:30 午後定例実習(搾乳当番以外)
- 16:30~17:30 夕食
- 17:30~19:30 搾乳実習(搾乳当番)
- 22:00 消灯

学校生活を彩る学生同士の交流。

寮生活

酪農大学校は全寮制、つまり2年間同期生と一緒に暮らすことになります。同じ目標を持つ友人達との交流は学校を卒業してからも大きな助けになることでしょう。



寮居室



寮共有スペース



学生寮と蒜山三座

蒜山三座のふもとで学ぶ 抜群の酪農環境。

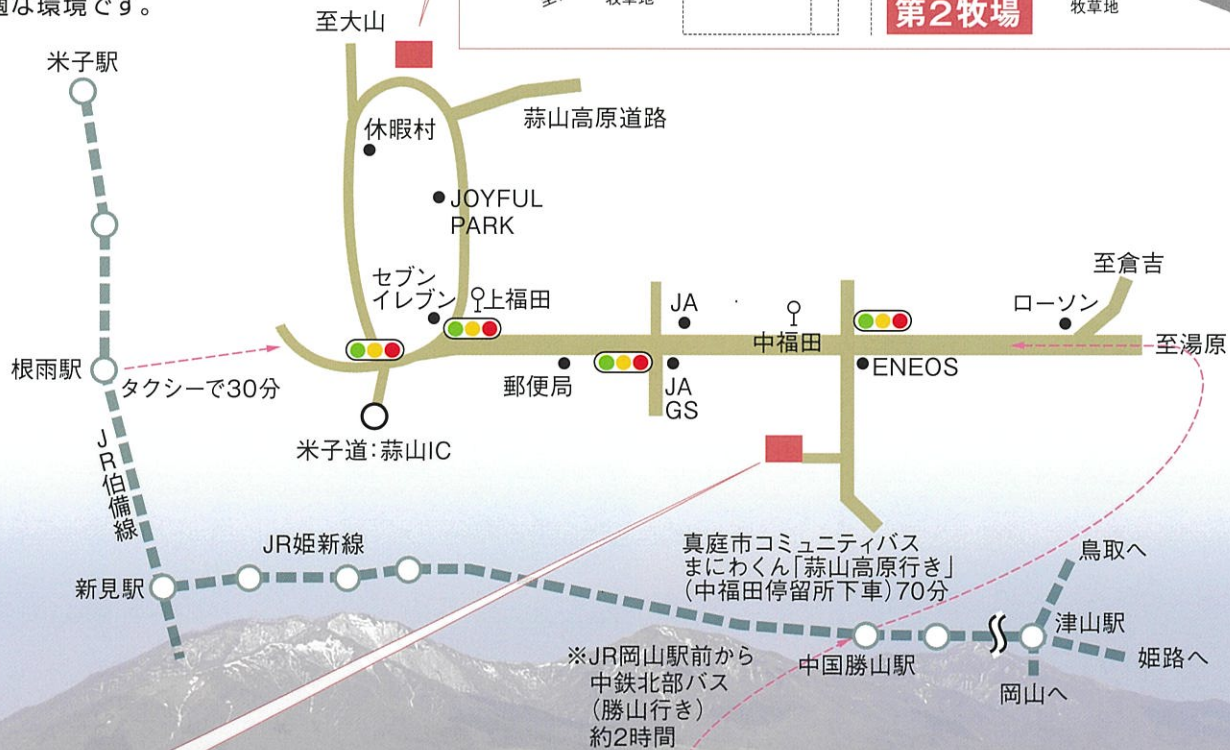
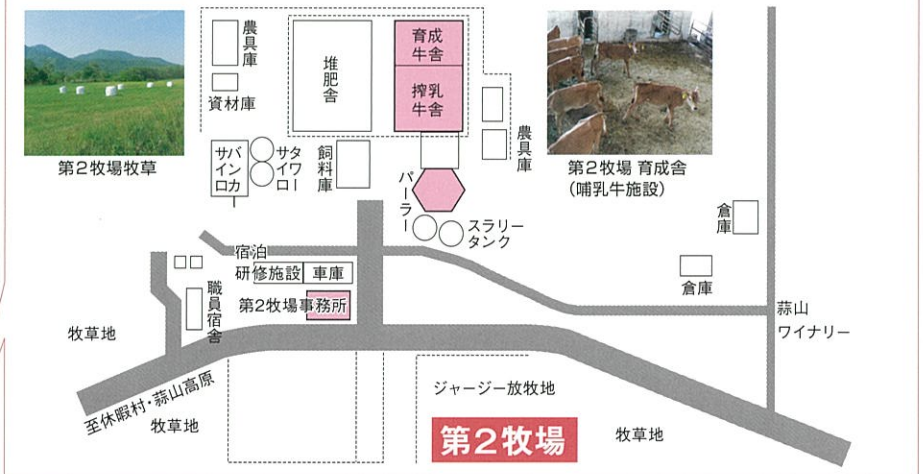
酪農大学校がある蒜山(ひるぜん)地域は、岡山県北西部に位置しています。西日本でも希な高原状の地形に恵まれており、四季の織りなす魅力ある自然景観を活かし、「蒜山高原」として県内有数の観光地となっています。また、北海道南部に似た冷涼な気候は乳牛飼育に適しており、日本屈指のジャージー酪農地帯としても有名であり、酪農を学ぶ場として最適な環境です。



第2牧場 外観



搾乳牛舎及び搾乳施設(冬)



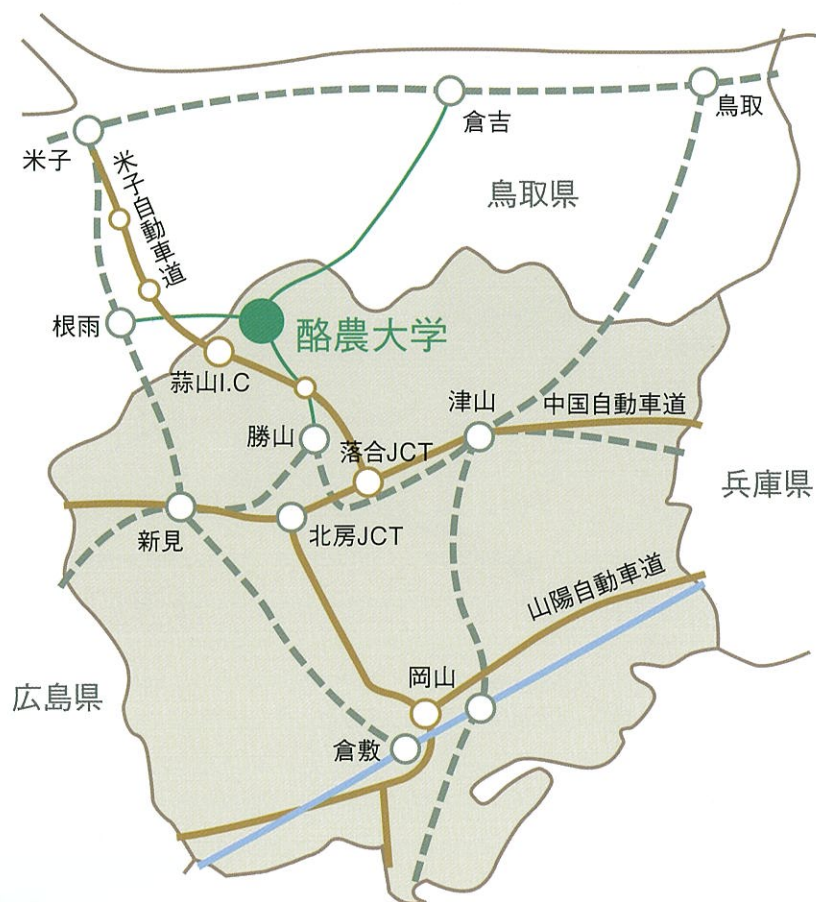
学生寮外観

本館

第1牧場

本館及び第1牧場

中国四国酪農大学校までのアクセス



公益財団法人

中国四国酪農大学校

〒717-0604 岡山県真庭市蒜山西茅部632
TEL (0867) 66-3651 FAX (0867) 66-3652
E-mail info@rakudai.ac.jp URL <http://www.rakudai.ac.jp>

中国四国酪農大学校

検索